

■ 「読む 統計」シリーズ・日本の羊毛工業

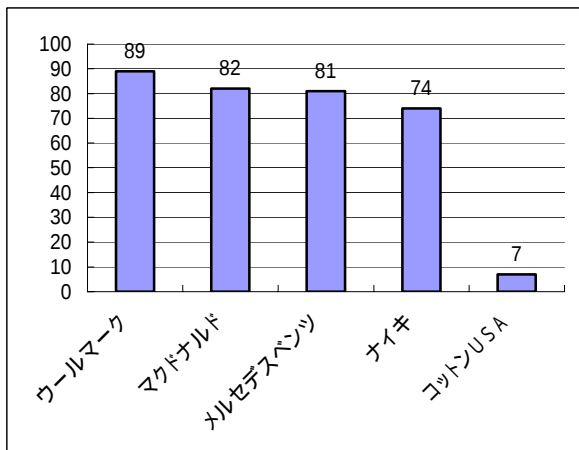
ウールに対する消費者の態度

ウールイメージ

89%が「ウールマーク」を見たことがある

ウール製品と言えば「ウールマーク」を連想するが、ブランドとしてのウールマークは他の商品ブランドと比較してどうか。ザ・ウールマーク・カンパニーの調査から紹介する。

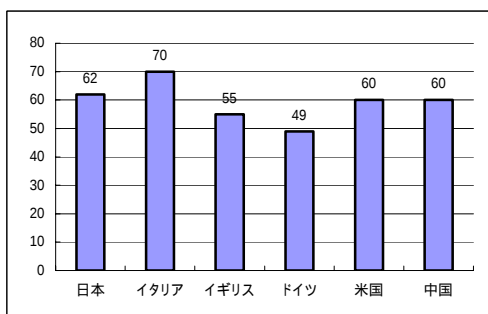
マークを見たことがありますか



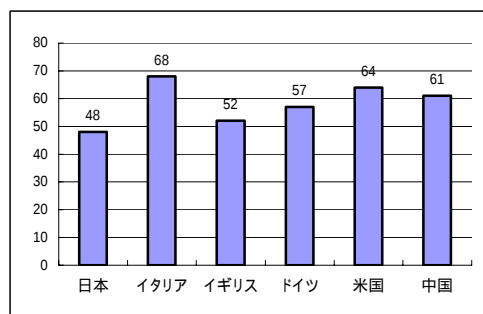
わが国における各種ランドマークの認知度（マークを見たことがあるか）ではウールマークはマクドナルド、ベンツを抜いてトップである。またマークの意味を正しく理解している人の割合は72%で、「ほぼ正しく理解している」の13%を含めると85%に達する。

問題はその信頼度である。「ウールマークが付いている洋服は信頼できるか」、「ウールマークが付いている洋服は高品質のイメージか」の質問への答えは以下の通りである。

信頼できるか



高品質のイメージか



信頼度では大きな差異はないが、高品質イメージではわが国は最低の48%である。業界として解明すべき問題点だろう。

他産地は今、活路を求めて

○岐阜メンズ、海外生産96%

岐阜メンズファッション工業組合は、このほど加盟企業の04年度の紳士物国内・海外生産数量をまとめた。59社のうち36社から回答があった。海外生産比率は95・7%（前年96・3%）で、圧倒的多数が海外で生産されている。

○自立事業、申請は295社

経済産業省が発表した05年度「中小繊維製造業者自立事業」の申請件数は04年度の269件を上回る295件になった。管轄局別では近畿108件、関東75件、中部49件、四国27件、九州10件、東北9件、沖縄3件、北海道2件。

申請数が増えたのは、全国各地で開催した

製品仕入れを除き、自社で企画・生産した商品の国内生産は101万7,017着、海外生産は2,776万3,460着で、合計2,378万477着となった。03年度調査は42社のため単純比較はできないが、国内生産は1・8%増え、海外生産は14・5%減少した。

事前説明会に加え、今年度初めて実施したアドバイス制度が効果を上げたと思われる。審査は6月末まで行われ、7月1日に採択企業を発表する予定。

なお04年度は169案件を採択し、補助金約50億円を交付した。1件当たり平均3,000万円だった。